

再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.6-18)

件名	分析操作中のガラス器具等による切傷及び汚染	
事象の概要	(1) 発生場所: 機器 (2) 発生の状況 (3) 概要	
事象による影響	(1) 工場外への影響 (2) 安全性への影響 (3) 作業員への影響 (4) 他工程への影響	
対応の概要	(1) 定められた手順に従って身体の汚染を除去するとともに、ウランの体内への取り込みがないことを確認する。 (2) 必要に応じて医療機関へ搬送する。 (3) 汚染した区域がある場合、定められた手順に従い汚染を除去する。 (4) 汚染が除去されたことを確認して、分析操作を再開する。	
公表区分	夜間・休祭日を問わず速やかに公表(プレス発表)	
対応区分	(a) 運転継続しながら復旧 (b) 運転系統を切り替えて復旧 (c) 当該機器を停止して復旧 (d) 当該設備を停止して復旧 (e) 影響範囲の設備を停止	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: レベル0以下 放射性物質の外部放出 工場外への影響 放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響 運転時制限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化

